

2020年8月6日「世界大会大阪集会」

於 エルおおさか南館5階

原水爆禁止大阪府協議会

【当面の行動提起】

8月2日世界大会国際会議がオンラインで行われました。世界的なコロナウイルスの感染は、貧困層をはじめ、社会的弱者の間で深刻化しています。自然環境を破壊し、貧困と格差、医療・教育の削減などを招いた新自由主義的政策は、人の命を守るという点で脆弱だったことを明らかにしました。その一方で世界の諸国では約2兆ドル(200兆円)が新たな核兵器開発を含む軍事費に費やしています。不要不急の軍事費予算を削減し、コロナ対策に回すことを世界の諸国民は願っています。

国連は今日の事態について「国連の75年の歴史において、莫大な破壊力を持つ兵器により安全保障を確保しようとする愚かさがこれほど明らかになったことはない」と表明しました。「核兵器禁止条約」発効まで10カ国の批准となり、核兵器廃絶をめざすたたかいかも新しいステージとなります。

日本政府も含む、「抑止力」の名による核兵器への固執は、新たな拡散と対立の原因となっており、こうした行為は、人類をさらなる危機にさらすものでしかありません。唯一の戦争被爆国である日本政府の責任は重大で、速やかに核兵器禁止条約に参加するとともに、核兵器のない世界的流れの先頭に立つことが求められています。そして、世界の平和の流れに逆行する、沖縄・辺野古の米軍新基地建設や憲法違反の敵基地攻撃など自衛隊の任務拡大、日米軍事同盟の下で日本を戦争する国にする動きに私たちは反対します。

このような情勢の下、当面の行動提起を行います。

- ① 「ヒバクシャが訴える国際署名」を引き続き69行動などで取り組むとともに、「核兵器のない世界」を求める運動を広範な社会運動と連帯してさらに発展させます。
- ② 「核の傘」に依存する日本政府に対し、核兵器禁止条約に批准するよう求める、市議会議会からの意見書採択運動を引き続き強めていきます。また、労組、市民団体とともに「核兵器禁止条約批准」運動を、強めていきます。
- ③ 平均年齢83歳を超える被爆者の証言を聞く機会をつくりましょう。また原爆パネル展はじめ、核兵器使用の非人道性を訴える活動を強化していきましょう。
- ④ 大阪平和委員会や大阪安保実行委員会とともに、軍事費削減、アメリカ軍事基地の撤去など反戦、平和の諸課題に基づく運動との共同を発展させていきます。
- ⑤ 9月の国連開会日行動や核兵器廃絶国際デーに宣伝行動に取り組むとともに、10月～11月に「国連軍縮週間のつどい」を開催していきます。

以上